

淡路納税貯蓄組合連合会

中学生の「税についての作文」の募集とオンライン審査

当該事業は、次代を担う中学生が、税をテーマとして作文を書くことを通じて、税に関心を持ち正しい理解を深めることを目的として、全国納税貯蓄組合連合会と国税庁との共催による租税教育の一環として実施しています。しかしながら、生徒数に対する作文応募割合の学校間のバラツキが大きいことから、中村 淡路納税貯蓄組合連合会会長が6校の学校長を訪問し、中学生が税の作文を書くことの重要性と教育の機会均等を説き、作文の提出依頼を呼びかけました。

その結果、前年の436編、応募割合13.7%から本年は669編、応募割合21.3%となり、非常に大きな伸びとなりました。今後も引き続き、淡路地区租税教育推進協議会と連携の上、当該募集事業を、更に進めていくこととしています。

また、提出のあった作文については、例年、署に絞り込みを行っていただいた上で、納貯連メンバーが中心となって作文の審査を行っていますが、本年度は、一同に会しての審査ではなく、審査期間を設け、審査者（納貯：坂本理事、藤岡理事、松谷理事、中村委員及び橋元委員、税理士：土井先生）が各々の都合のつく時間帯において、自宅等でオンラインにより行うことで、効果的・効率的な審査を行うことができました。

視察研修

令和5年12月5日(火)に京都市左京区・北区方面での視察研修を実施しました。

昨年に引き続き、日頃の納税貯蓄組合の活動をご理解いただくためにご家族の方も歓迎したところ、ご夫婦での参加が3組となるなど計15名の参加がありました。後水尾天皇ゆかりのお寺である勅願所 圓通寺では、霊峰比叡山を借景した見事な枯れ山水庭園を目の当たりにしつつ、住職からお寺の歴史や借景庭園の講話を伺いました。その後は、大徳寺北側の健康長寿・災疫鎮静の今宮神社に参拝し、境内入口のお店であぶり餅をいただくとともに、大徳寺境内で営業する泉仙 大慈院店にて、京の老舗精進鉄鉢料理をおいしくいただきました。

当日は、古の京都の歴史に触れるとともに、改めてご家族の方にも納貯の活動をご理解いただき大変充実した一日でした。

青色記帳・キャッシュレス納付推進コーナーの運用

令和4年分確定申告期間の令和5年2月27日(月)～3月3日(金)の5日間、淡路文化史料館確定申告会場において、各日2人の納貯連役員が交代により同コーナーを運用し、申告会場を訪れた納税者に対して、キャッシュレス納付や青色記帳について積極的に周知広報活動を行いました。

租税教室

令和5年度の租税教室事業について、納貯連からは、藪淵修司理事が5月30日(火)に安乎小学校6年生10名を対象に講師を務めました。どの児童も真剣に受講しており、講師からの質問にも元気にハキハキと応えていました。

